

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	--------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

医療政策課長 家本 賢

電話番号

0852-22-6698

事務事業の名称	へき地等医療支援事業
目的	(1) 対象 へき地診療所及び地域医療拠点病院  (2) 意図 へき地診療所の機能を維持すると共に、地域医療拠点病院のへき地での診療活動を継続させる。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>へき地診療所及び地域の巡回診療などを行う地域医療拠点病院の運営支援に財政支援し、離島や中山間地域にある無医地区等の住民の医療確保に努める。</li> <li>県西部における中核的役割を担う医療機関の施設設備の整備への支援や、県西部の各医療圏において地域保健医療医療対策会議を設置し、医療提供体制についての協議を行う。</li> <li>隠岐広域連合に対して円滑な活動を図るために負担金を支出する。</li> <li>隠岐病院、隠岐島前病院に対して適切な運営を図るため負担金を支出する。</li> </ul>

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	県西部、隠岐地域の救急告示病院数	目標値		9.0	9.0	9.0	9.0	病院
	式・定義	県西部、隠岐地域の救急告示病院数	実績値	9.0					
			達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	地域医療拠点病院数	目標値		21.0	21.0	21.0	21.0	病院
	式・定義	地域医療拠点病院数	実績値	21.0					
			達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	179,003	221,289
うち一般財源(千円)	140,922	182,369

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

救急告示病院数や地域医療拠点病院数については、医師確保の状況は引き続き厳しいが、現状を維持できている。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

地域医療拠点病院やへき地診療所への運営費支援を行い、また隠岐広域連合の構成員として運営費の負担を行い地域医療体制の確保を図った。  
浜田圏域において今後の医療体制の在り方検討を進め、今後の浜田医療Cと済生会の役割分担に向けた議論がスタートした。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

医療従事者の不足と収益の悪化

### ②困っている状況が発生している「原因」

県西部や離島への病院勤務医師の派遣が困難であることや、医師の高齢化

### ③原因を解消するための「課題」

へき地医療を支える医師の確保と役割分担連携による医療機能の確保

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

医師確保対策の継続とドクターヘリ、まめネットなどを活用した医療連携と機能分担のさらなる推進

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価(任意記載)